

●協働学習 ■児童生徒実践型

実践タイトル 映像に書き込み 情報を共有

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

・児童が「水道の水はどこからきているのか」という課題を追究するために、自ら調査撮影してきた映像を電子黒板で書き込みながら提示し、情報を共有する。

動画

・学校や家庭で使用する水の場면을動画に記録し提示することで、自分の生活場面を想起しやすいようにするとともに視点を明確にして課題を持ちやすくする。

参考にしてほしいポイント

- ・本時の導入場面では、動画映像を提示するとともに、教室近くの水道を实际見て感じとらせることで、自らの課題を持たせるとともに、学習への興味・関心を高める。
- ・蛇口をひねっただけで、いつでもきれいな水がなくならずに出てくる水道の水が、どこから来ているのか予想し、それを協働で解決していく際に、デジタルカメラで撮影した映像を共有しながら追究していく。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 10	・わたしたちの健康な生活のために欠かすことができない「水」について話し合いながら、電子黒板を使ってその活用場面を動画で見て、気づきを話し合わせる。 ・教室近くの水道から出てくる水を实际見ながら学習課題を持たせる。	・電子黒板(写真1) ・デジタルビデオカメラによる自作の動画教材
展開 10 35	・いつでもひねっただけで出てくる「きれいな水」「なくなる水」は、いったいどこから来ているのかを予想して話し合う。 ・各班でデジタルカメラを持って、水道の蛇口から水道管をたどって、水の元を探っていく。	・児童が予想を書いたノートを提示する実物投影機 ・調査活動において撮影するためのデジタルカメラ
まとめ 35 45	・自分たちで撮ってきたデジタルカメラの映像を見ながら話し合う。 ・自分たちの調査の結果をまとめながら、新たに出てきた問いを明確にする。 ・次時の学習問題を確認する。	・電子黒板(写真2・3) ・デジタルカメラ



写真1: 自作動画教材を提示しながら児童の気づきを電子黒板に書き込む



写真2: 電子黒板に自分たちで撮ってきた写真を提示しながら説明を加える



写真3: 各班の情報を共有し伝え合いながら考えを深めていく児童

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・動画で提示した教材は、自分たちの生活により身近なものであったため、興味を持って意欲的に学習に参加していた。また、動画教材に書き込みを加えることで、追究する視点を明確に持つことができた。
- ・「水道の水がどこから来ているのか」という自分たちの予想を検証しようと、デジタルカメラを片手に意欲的に写真を撮って、自分たちの班こそ一番だという意気込みで、電子黒板を使って発表していた。

活用効果

評価の観点	・社会的事象への関心・意欲・態度 ・社会的な思考・判断・表現	具体的容容	・児童に身近な場面を動画で提示したことで、学習への興味関心を高めることができた。 ・学習問題に対する予想を検証していった結果を電子黒板で共有することで、伝え合いながら考えを深めていくことができた。
-------	-----------------------------------	-------	---

実践の手応え

- ・電子黒板を使って動画教材を提示することができたので、書き込みながら学習問題への視点を持たせ興味・関心を高めることができた。また、デジタルカメラや電子黒板を使って学習問題に対する自らの予想を検証し、情報を共有しながら考えを深めることができたことで、問題解決的な学習の展開を図ることができた。